



学校林に植樹

山口小学校には地域の方々のご協力で使わせていただいている学校林があります。学習環境を整える助けにと、杉の木が植えられ、長年手入れされてきました。

ここ数年、黒森神楽で使う衣装の痛みが激しくなり、新しい衣装の準備を考えていました。しかし、費用が高額であり、思うように更新できません。そこで、学校林造成委員会よりご提案いただき、杉を伐採し、その売上げで衣装を購入することになりました。

伐採したあとには、新しく苗を植え、50年後、60年後の山口小学校に残すことになりました。



6月15日(土)10時から、6年生の学年レクリエーションとして植樹祭が行われ、約700本の苗を、2時間かからず植え終わりました。小雨模様の天候が苗にとっては恵みの雨になりました。

山口小行事案内

7月26日(金) 終業式
8月20日(火) 始業式
8月26日(月)から
8月28日(水)まで
夏休み作品展

1学期もたくさんの方が 参加しました

毎日の登下校での安全指導、絵本の読み聞かせ、校庭の草取り、体力テスト計測、玄関と校長室の生け花、黒森神楽衣装の着付けなど、ボランティア活動に参加して頂き、ありがとうございました。



バザー販売品の 提供をお願いします

学習発表会終了後に、学習環境整備に協力するためのバザーを開催します。

次の「おじ杉おば杉」で詳細をご案内致しますので、バザー販売用の品物の提供にご協力をお願い致します。

緊急時にこそ、 実力発揮

5月14日(火)、学区内の公園でクマの目撃情報があり、学校に連絡が入りました。ちょうど低学年が下校時間になる直前でした。

対応が協議され、職員がついての集団下校となりましたが、帰り道がクマの目撃された場所のそばを通る児童たちのために、いつも通学路で見守り活動をしているスクールガードさんが、学校まで来てくださいました。高学年も集団下校になりましたが、地域のスクールガード、ボランティアの皆さんに協力していただき、安全に下校することができました。

突然の事態にも臨機応変に対応して頂き、これこそが地域の底力と感じました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



子どもたちを育てる地域ってだれのこと？

子どもたちのまわりにいるすべての人です。家族も、となりのうちの人も、おじいちゃん、おばあちゃん、学生、会社、漁協や農協、病院、警察や消防署、個人も団体もみんな、子どもを育てる地域の資源です。子どもを育てることで、地域も変わり、育ちます。学校と地域が子どもたちの育ってほしい姿を共有し、積極的に連携・協働を進めていくことで「地域とともにある学校づくり」を目指します。

【問い合わせ先】

山口小学校地域学校協働本部

電話 62-2723

地域コーディネーター 佐々木良恵